



JP 2-111361 U

RECEIVED
FEB 05 2002
TC 1700

Title: A pillow case with functionalities

Claim:

(1) A pillow case consisting of a tube-like knitted fabric which is knitted with hosiery knitting or sinker loop knitting using following yarns:

a yarn consisting of electroconductive fiber containing copper sulfate in polymer fiber, or a yarn containing said electroconductive fiber as a pile yarn; and

a covering yarn or a core yarn with a core of elastic yarn as a wadding.

公開実用平成 2-111361

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-111361

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)9月6日

A 47 G 9/00
D 03 D 27/00
D 04 B 1/16
1/18
1/26

W 8206-3B
A 6844-4L
6681-4L
6681-4L
6681-4L

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 機能性を有する枕カバー

⑯ 実 願 平1-17390

⑰ 出 願 平1(1989)2月16日

⑱ 考 案 者	五味 淵 礼 三	京都府宇治市木幡御蔵山39-566
⑲ 考 案 者	青 野 捷 三	和歌山県伊都郡高野口町向島78番地の4
⑳ 出 願 人	日本蚕毛染色株式会社	京都府京都市伏見区舞台町35番地
㉑ 出 願 人	青野パイル株式会社	和歌山県伊都郡高野口町向島78番地の4
㉒ 代 理 人	弁理士 池 浦 敏 明	外 1 名

明 細 書

1. 考案の名称

機能性を有する枕カバー

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 高分子繊維中に硫化銅を含有させた導電性繊維からなる糸又は該導電性繊維を含有する糸をパイル糸とし、弾性糸を芯としたコアヤーン又はカバリング糸を芯糸として用い、これらの糸を靴下編み又はシンカーループ編みに編成した筒編地からなる枕カバー。

3. 考案の詳細な説明

(技術分野)

本考案は、枕カバーに関するものである。

(従来技術及びその問題点)

枕カバーには、使用に際して後頭部からの汚れが生じるので耐洗濯性のよいことが要件とされ、また洗濯後には速乾性にすぐれていることが要望される。これらのことから、従来、枕カバーとしては、綿とポリエステル繊維との混紡糸を用いた平編物を用いて作製するのが一般であり、その枕

公開実用平成 2—111361

カバーに健康増進効果等の機能性を付与したものは殆んど提案されていない。

(考案の課題)

本考案は、枕カバーに抗菌性や健康増進効果等の新しい機能を付与した枕カバーを提供することをその課題とする。

(課題を解決するための手段)

本考案者らは、前記課題を解決すべく鋭意研究を重ねた結果、本考案をなすに至った。

すなわち、本考案によれば、高分子繊維中に硫化銅を含有させた導電性繊維からなる糸又は該導電性繊維を含有する糸をパイル糸とし、弾性糸を芯としたコアヤーン又はカバリング糸を芯糸として用い、これらの糸を靴下編み又はシンカーループ編みに編成した筒編地からなる枕カバーが提供される。

本考案では、アクリル繊維やアクリル系繊維、ナイロン繊維等の高分子繊維中に硫化銅を含有させた導電性繊維からなる糸又はこれを含む糸をパイル糸として用いる。前記導電性繊維自体は

公知である(例えば、特公昭62-20305号、特公昭62-52071号等参照)。この導電性繊維は、それに含有される硫化銅の作用により、防臭及び抗菌の機能を有するとともに、硫化銅の遠赤外線放射による血行促進効果等の機能を有することが確認されている。本考案では、この導電性繊維は、単独で用いることができる他、非導電性繊維と組合せて用いることができる。導電性繊維に組合せる非導電性繊維としては、各種の天然繊維、再生繊維、合成繊維等を任意に用いることができる。両者の組合せ法としては、混紡、交捻等を採用することができる。

本考案で用いる芯糸は、ポリウレタン繊維等の従来公知の弾性糸を芯としたコアヤーン又はカバリング糸である。

本考案では、前記したパイル糸及び芯糸を用い、これらを口径の大きい靴下編機によって靴下編みに編成するかあるいはシンカーループ編機でループ編みに編成して、伸縮可能な筒編地からなる枕カバーとする。

公開実用平成 2-111361

第1図に、本考案の枕カバーにおいて、靴下編みの編目構成図を示し、第2図にシンカーループ編みの編目構成図を示す。これらの図面において、1は導電性繊維からなるパイル糸、2は弾性糸を芯としてコアヤーン又はカバリング糸からなる芯糸(地糸)を示す。第3図は本考案の枕カバーの斜視図である。

本考案の筒編地において、硫化銅含有導電性繊維の含有割合は、25重量%以上とするのが効果的であり、使用する糸の番手の組合せによってその含有率の調節を容易に行うことができる。

(実施例)

次に本考案を実施例によりさらに詳細に説明する。

実施例 1

アクリロニトリル硫化銅複合体繊維1/64(商品名サンダロンSS-N、日本蚕毛染色㈱)と綿20/1をパイル糸とし、スパンデックス20d(デニール)とナイロン70d加工糸のカバリング糸を芯糸にし、8インチ径針数480本に設定された筒編機を使用し

て筒編地を作った。この編地は巾24cm×長さ35cm、目付80gであった。硫化銅含有繊維のパイル糸に含まれる割合は35%であった。この生地は伸縮性であるため、枕カバーとして使用した場合、そのフリーサイズのため大きさは自由に調節でき、後頭部に遠赤外線効果があり、血行がよくなり、安眠できた。

実施例 2

アクリロニトリル硫化銅複合体繊維1/80の1本とモダアクリル繊維50%と綿50%との混紡糸1/32とをパイル糸に用い、高弾性をもつポリエステル加工糸を芯にその外側に綿70%を配したコアヤーンを芯糸に用いて、8インチ径、針数480本に設定した編機で筒編地を作った。この編地は巾24cm、長さ35cm、目付72gであった。硫化銅含有導電性繊維は、パイル糸の中で28%の割合である。この生地を枕カバーとして使用した。このものは、難燃性、防臭、吸汗性及び遠赤外線による血行促進を有する。

実施例 3

公開実用平成 2—111361

アクリロニトリル硫化銅複合体繊維1/64 1本と
予じめ染色された再生繊維のベンベルグ30/1 1本
とを引揃えたものをパイル糸に用い、ナイロン糸
75dを地糸に用いて、シンカー編機によりシンカ
ーループ編みに編成した。

この生地を枕カバーとして使用した結果、防臭、
吸汗性にとみ、かつ遠赤外線による血行促進の効
果もあった。

(考案の効果)

本考案は上記の構成であって、前記したように
硫化銅含有導電繊維を含む伸縮性に富む円筒編地
からなるため、防臭、むれない、吸汗性、難燃性
の効果があり、さらに遠赤外線による血行促進効
果もある。特に後頭部(特に耳のうしろ)の血管を
遠赤外線によって刺激し、血行を促進し、安眠効
果を有する。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の枕カバーにおいて、靴下編み
の編目構成図を示し、第2図はシンカーループ編
みの編目構成物を示す。第3図は枕カバーの斜視

図を示す。

1…導電性繊維からなるパイル糸、2…弾性糸を
芯としたコアヤーン又はカバリング糸からなる芯
糸。

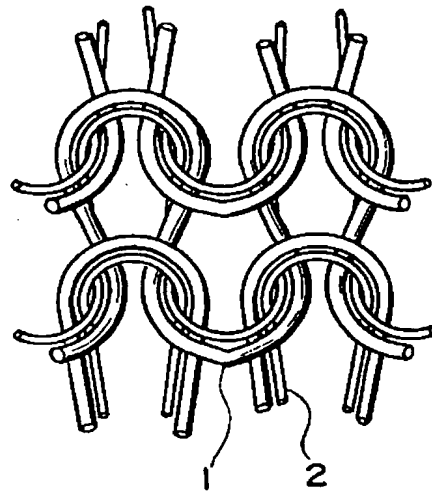
実用新案登録出願人 日本蚕毛染色株式会社

(ほか1名)

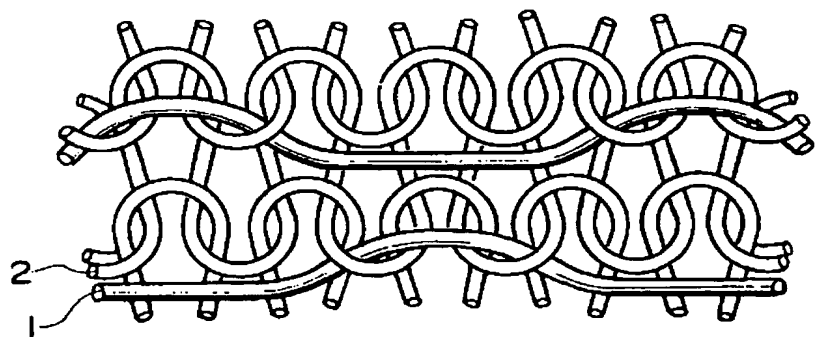
代理人 弁理士 池浦敏明(ほか1名)

公開実用平成 2-111361

第 1 図



第 2 図



第 3 図

